

令和4年度生麦地区センター事業計画書

1 NPO 法人 鶴見区民地域活動協会の事業方針

鶴見区民地域活動協会は、鶴見区自治連合会が設立した NPO 法人として、地域密着型の組織運営と地域のネットワーク力を活かした事業展開・交流促進を通じて「みんなとつながるまちづくり」を進めます。

令和4年度は、第4期指定管理期間（令和4年4月1日～令和9年3月31日）のスタートの年になります。引き続き運営することとなった7施設を含む、指定管理8施設及び管理委託4施設では、これまで行政や地域団体等と協働して取り組んできた実績をもとに、地域活動・交流の拠点としての役割をさらに積極的に果たします。

一昨年来、新型コロナウイルスの感染拡大によって、市民利用施設は、休館や利用制限、自主事業の中止など大きな影響を受けてきました。そうした中でも、協会各施設は「新しい生活様式」に対応したサービスの提供や改善を進めており、引き続き、ウイズコロナのもと、安全・安心で利用しやすい施設管理運営に連携して取り組みます。

(1) 地域に信頼される市民利用施設の管理運営

- ・地域の特性やニーズの把握に努め、安全で快適な施設管理運営と質の高いサービス提供を行います。
- ・地域からの職員採用や運営協議会委員の選任により、地域密着型の施設運営を行います。
- ・利用者や地域の声を多様な手段で聴取し、施設運営やサービス向上につなげます。

(2) 地域交流、まちづくりへの支援

- ・地区センターが位置するエリアの連合自治会長を担当理事として配置し、5つの地区センターを核として近隣のコミュニティハウス、こどもログハウスと連携した事業を展開します。
- ・自治会町内会や地域活動団体等と協力・連携して、幅広い層を対象に魅力ある自主事業を展開します。また、協会施設合同の事業を実施します。
- ・新刊書、絵本の積極的購入により魅力ある図書貸出し事業を推進し、「地域の貸本屋」を目指します。

(3) 時代の変化への対応

- ・インターネット予約の利用促進や Twitter 等を活用した情報発信、Wi-Fi 環境の整備など一層の利用者利便向上に取り組みます。
- ・少子高齢化への対応や利用者ニーズの多様化、多文化共生の推進などに対応するため、地域団体及び近隣の施設等と連携して、誰もが利用・参加しやすい事業運営を進めます。

(4) 行政との協働事業の展開

- ・施設の維持管理、災害時対応、地域福祉（あいねっと）の推進など、市や区の重要施策に連携して取り組みます。また、鶴見三大祭りを始めとした地域行事等にも積極的に参



地区 Ce 圏域図(約 1km)

加・協力します。

(5) 新型コロナウイルスへの対応

- ・市の対応方針に基づいて、三つの密の回避や入場整理など、基本的感染対策を実施します。
- ・ホームページや施設での貼り出し等により、利用者に混乱のないよう広報を行います。

(6) 計画推進のための組織運営

- ・指定管理選定で提案した収支計画に基づいて、利用料金収入や事業収入等の増加を図ります。また、協会のスケールメリットを活かして人件費や管理事務を一本化し、経費の削減と執行の効率化を進めます。
- ・職員配置は必要最小限とし、各職員が意欲・能力を最大限に発揮できるよう人材の育成や職場環境の整備に取り組みます。

2 生麦地区センター管理運営の基本方針

生麦地区センターは、主に生麦地区の住民が自主的に活動し相互交流を深める場として利用する施設であり、鶴見区の区政運営方針である「いつまでも住み続けたいまち・鶴見」の実践の場として活用する施設です。

生麦第一・第二地区はJR、京浜急行、第一・第二京浜道路で分断されていますが、両地域のコミュニティの醸成、地域連帯の意識形成を図る活動拠点として重要な施設であり、地域の魅力を活かし、多文化共生や福祉活動の拠点として、つながりを育むまちづくりの一端を担い、あたたかいおもてなしの運営をしていきます。

また、災害に対して、自助・共助による防災・減災の取り組みを行います。

3 組織体制

(1) 人員体制

館長、副館長、主任3名、スタッフは交代制で14名、の計19名で施設運営を行います。

常勤職員1名(又はこれに準ずる者)以上とスタッフ2名が常時勤務する体制をとります。

(2) 個人情報保護及び研修体制

「個人情報の保護に関する法律」及び「横浜市個人情報の保護に関する条例」を遵守するための職員研修を実施します。個人情報の収集は必要最小限とし、適切な管理、目的外利用の禁止などの指導を徹底していきます。また、職員のスキルアップのために、本協会主催の研修を始め外部研修に積極的に参加していきます。

(3) 緊急時の体制と対応計画

- ①鶴見区と締結した災害時の施設利用についての協定に基づき対応します。
- ②緊急時には緊急時連絡網に基づき近隣在住職員がすみやかに集合できる体制を確立しています。
- ③生麦地域ケアプラザと合同で防災訓練、AED使用訓練を実施します。
- ④自動販売機は防災ベンダー対応機を設置するとともに、防災備蓄庫を設置します。
- ⑤地元防災拠点の運営委員(地元町会長、学校長)が本施設の運営協議会委員ですので、非常時には臨機に対応可能な体制を確保しています。

- ⑥危機管理マニュアルに即し職員指導を行っていきます。
- ⑦不審者対策は、防犯システムの設置、小・中学校との情報交換・連絡を密にすることで対応していきます。

4 施設の運営計画

(1) 運営内容

地域自治会・協力団体・地域住民が自主的に活動し、相互の交流を深める場としての施設利用の促進に努めます。

①生麦第一・生麦第二地区の自治活動の利用促進

- ・自治活動の会議室利用に優先減免を行い、活動の支援を行います。
- ・職員による調整や利用促進を図ります。
- ・鶴見・あいねっとの集い、民生委員老人会昼食会、元気づくり事業、蛇も蚊もまつり、桜まつり、ふれあい防災訪問事業、飲酒運転撲滅運動などの各種事業の支援を行なっていきます。
- ・自治連合会の活動を広く広報し、より多くの区民が自治連合会に参加するのを支援していきます。

②生麦地域ケアプラザ、ふれあいの家と連携した事業展開

- ・秋祭り、ふれあいまつり、防災訓練などを共同開催します。
- ・野外広場の活用（保育園児、小中学生のスポーツ、ボーイスカウト、健康体操など）を図ります。

③ふれあいの家や障がい者団体の会議室や体育室利用に、優先減免をおこない、障がい者にやさしい運営を目指します。

(2) 利用促進を促す企画を実施します。

①施設利用促進策

- ・自主事業後のサークル化促進などで新規利用団体の誘致を図ります。
- ・サークル活発化のため支援事業をおこない、既存のサークルの存続を支援します。
- ・魅力ある自主事業を実施し、参加者を増やしていきます。
- ・施設で行う自主事業の宣伝のために連合会等で説明し、地域の方に関心を持っていただくようにします。
- ・地域行事などに参加し、地区センターを身近に感じていただき、利用を促していきます。
- ・地域アドバイザーと協力して、地域を取り込んだ事業を企画したり、広報活動を広げることで利用者を増やします。
- ・生麦地域ケアプラザと施設利用方法を住み分けし市民の利用を増やします。
- ・体育館の団体利用枠を6割としましたので、より一層の利用促進を図ります。
- ・ポスターや掲示板、HPを利用して、自主事業等をひろく広報し、参加を増やします。

②図書利用促進策

新刊書や絵本を充実させることで、貸出し冊数の増加につなげます。

(3) 利用者ニーズの把握と取組み

①利用者ニーズの把握

- ・利用者との交流、利用者アンケート、自主事業アンケートなどを通じて利用者ニーズを把握します。

- ・利用者会議を開催し意見や要望を把握していきます。
- ・運営協議会で意見や助言をいただき施設運営に反映していきます。
- ・モニター会議等を通じ地域ニーズを把握します。

②利用者サービスの向上

- ・インターネット予約を導入しましたので、利用者への周知やサービスの向上を目指します。
- ・自治会、老人会、婦人部会など地域団体が利用しやすい環境を整備します。
- ・新刊図書コーナーを設置し図書を借りやすくします。
- ・参加費を低く抑えた自主事業の開催を増やしていきます。
- ・コロナ禍において、消毒等を徹底し、少しでも安心していただけるようにします。
- ・コロナ禍において、閉館や時間短縮、定員の制限などを、HP や掲示物で速やかに周知し、利用者がより使いやすくなるよう努めます。

(4) 横浜市重要施策に対する取組み

①図書活動推進事業

新刊書、絵本を積極的に購入し魅力ある図書事業を推進していきます。

②シニアが活躍するまち(健康づくり・介護予防)

つるみ元気づくり支援として健康体操、ボッチャ大会などを実施します。

③子育て支援の場や機会の充実

子育て中の親子が気軽に利用できる居場所づくりを進めます。

おはなし会、親子サロン、紙芝居、リズム遊び、クリスマス、ハロウィンなどの写真会や、泣いても大丈夫コンサートを実施します。

④子ども・青少年の健全育成に向けた地域連携の推進

子どもの身近な居場所づくりに施設利用や地域連携を進めます。

子どもの遊び場、生麦こどもフェスなどを支援します。

⑤参加と協働による地域自治の支援

地域活動の拠点として生麦地域ケアプラザ、鶴見中央コミュニティハウスと連携し、地域の課題・情報の共有化を図ることで地域活動団体を支援していきます。

⑥文化芸術活動の支援

生麦事件顕彰会や蛇も蚊もまつり、桜まつり、鶴見川環境・防災・歴史の魅力などの事業を実施します。

5 自主事業計画

(1) 自主事業の充実に向けた対策

- ・人気の高い講座は継続すると共に、地域の特性を考慮した新企画の講座を増やしていきます。
- ・施設共通の課題や人気度の高い講座などの情報を共有し、本協会企画の自主事業を実施していきます。

(2) 自主事業の基本的な分類

①高齢者交流事業

高齢者を対象に楽しく交流できる講座を実施していきます。

②子育て支援事業

未就園児の親子を対象に子育てが楽しくなる講座を企画していきます。

③サークル支援事業

登録団体がサークルの活性化を図れるような講座を企画していきます。

④外部依頼事業

専門的技術を要する講座は外部講師に依頼し、幅広いニーズに対応できる講座を企画します。

⑤他団体共催事業

ケアプラザ、地域作業所、自治会婦人部をはじめ、下流ネット・鶴見など関係団体と共同で事業企画を進めます。

6 施設の維持管理計画

安全・快適な環境維持及び長寿命化の観点から施設の維持管理に努めます。

①建築物保守・設備機器・環境衛生管理

- ・専門業者に委託し法令に基づく定期点検、年次点検を実施します。
- ・職員が「点検表」に基づき日常点検を実施し早期発見・早期対応に努めます。

②清掃業務

- ・専門業者に委託し、日常清掃、定期清掃を実施します。
- ・職員が開館前、閉館前に日常清掃を、開館時間内は随時清掃を行います。

③保安警備

- ・開館時間内は職員が巡回警備を行います。
- ・防犯カメラによる監視や警備会社に夜間、休日の警備を委託します。

④廃棄物処理

- ・利用者にごみの持ち帰りを周知することで、施設から発生する廃棄物を減らしていきます。
- ・横浜市ごみゼロルート回収にて廃棄物を処理します。

⑤修繕

- ・修繕費を平準化するために、修繕計画を作成し修繕を実施します。
- ・突発的に発生する修繕は、地域業者に依頼することで迅速に対応します。
- ・軽微な修繕は、職員、スタッフが先行し経費節減に取り組みます。

⑥外構、植栽管理

- ・専門業者に委託し、外構清掃、害虫駆除、樹木剪定を実施します。
- ・低木などの樹木剪定は職員が励行し、すっきりとした環境を維持します。
- ・雑草除去、落ち葉清掃は、日常清掃業者または職員が実施します。
- ・季節の花々の植栽の美化に努めます。

令和4年度 自主事業計画書

募集対象	事業名 (教室名)	開催時期	開催回数	参加人員		自主事業経費			1人あたり参加費		講師謝金		備考 (共催団体・その他)
				募集人数 (人)	延参加 人数(人)	委託料支 出総額 (円)	参加者 負担総額 (円)	総経費 (円)	徴収の 有・無	参加費用 (円)	1回1講師 あたり (円)	1教室講 師謝金額 (円)	
未就学児と 保護者	はなしのお宿	毎月1回	11	10組	220	40,000	0	40,000	無	0	3,341	36,751	
成人	パソコン相談室	毎月1回	11	10	110	5,500	0	5,500	無	0	5,500	500	鶴見パソコンボランティア協会
未就学児と 保護者	なまむぎ子育て相談	毎週火曜 日	46	8組	800	0	0	0	無	0	0	0	子育て支援者事業
未就学児と 保護者	生麦にこにこサロン	毎月1回	9	10組	180	0	0	0	無	0	0	0	生麦第一地区社会福祉協議会
小学生	ワンパク・サタデー	年7回	7	15	105	21,320	0	21,320	無	0	5,000	20,000	青少年指導員・スポーツ指導員・子ども育成会
未就学児と 保護者	季節のおはなし会	年4回	4	8組	64	3,000	0	3,000	無	0	0	0	
どなたでも	おもちゃ病院	年3回	3	10	30	16,704	0	16,704	無	0	5,568	5,568	
未就学児と 保護者	ママカフェ	年3回	3	10組	30	0	3,000	3,000	有	100	0	0	
高齢者	ひざひざワックン体操	年4回	4	16	64	0	0	0	無	0	12,000	12,000	
成人	春の寄せ植え	4月	1	10	10	6,225	17,000	23,225	有	1,700	6,125	6,125	
成人	端午の節句折り紙	4月	1	10	10	2,500	3,000	5,500	有	300	5,568	5,568	
小学生	楽しい書道	4月	1	10	10	6,225	3,000	9,225	有	300	6,125	6,125	
成人	季節の福文字	4月	1	10		6,000	10,000	16,000	有	1,000	5,568	5,568	
小学生	母の日のプレゼント	4月	1	12	12	600	2,400	3,000	有	200	0	0	
乳幼児と 保護者	こどもの日ごろんして写真を撮ろう	5月	1	10組	20	1,225	5,000	6,225	有	500	6,125	6,125	
乳幼児と 保護者	親子リズムあそび	5月	2	10組	40	5,000	10,000	15,000	有	1,000	6,125	18,375	
成人	ZOOM講座	5月	1	16	16	4,400	9,600	14,000	有	600	11,000	11,000	鶴見パソコンボランティア協会
成人	ほぐしてにっこりリラックス体操①	5月	3	10	30	3,675	15,000	18,675	有	1,500	6,125	18,375	
成人	生麦寄席	6月	1	20	20	10,175	0	10,175	無	0	6,125 3850	9,975	
成人	パッチワークの小物	6月	10	10	10	6,225	10,000	16,225	有	1,000	6,125	6,125	
成人	英国式ハンギング	6月	1	10	10	6,225	20,000	26,225	有	2,000	6,125	6,125	
成人	アロマの虫よけスプレー	6月	1	12	12	6,225	6,000	12,225	有	500	6,125	6,125	
小学生	子どもフェスティバル	6月	1	直接	100	3,000	0	3,000	無	0	0	0	生麦第一地区連合会
どなたでも	七夕かざり	6～7月	21	直接	210	0	0	0	無	0	0	0	
どなたでも	七夕マンドリンコンサート	7月	1	20	20	5,437	6,000	11,437	有	500	5,500	5,500	マンドリンアンサンブルアマール
年長から 小学生	ちびっこそろばん	7月	3	12	36	5,437	6,000	11,437	有	500	3,712	11,137	
小学生と 保護者	鶴見川の生き物観察	7月	1	10組	20	0	3,000	3,000	有	300	0	0	下流ネット鶴見

(様式5)

小学生	地球温暖化防止こども科学講座	7月	1	16	16	0	8,000	8,000	有	500	0	0	
どなたでも	みんな元気にラジオ体操	8月	8	直接	64	1,000	0	1,000	無	0	0	0	
小学生と保護者	夏休み親子の工作教室	8月	1	10組	20	1,800	6,000	7,800	有	300~600	0	0	神奈川県土建一般労働組合横浜鶴見支部
小学生	子ども化学教室	8月	1	16	16	6,225	8,000	14,225	有	500	6,125	6,125	
小学生	ボトルシップをつくろう	8月	1	16	16	6,425	8,000	14,425	有	500	6,125	6,125	
小学生	親子プログラミング講座	8月	1	8組	16	4,000	8,000	12,000	有	500	11,000	11,000	
高齢者	誤嚥防止のボイトレ&ストレッチ	9月	3	15	45	6,125	15,000	21,125	有	1,000	6,125	6,125	
成人	バルーンアート	9月	1	12	12	6,225	18,000	24,225	有	1,500	6,125	6,125	
成人	ほぐしてにっこりリラックス体操②	9月	3	10	30	3,675	15,000	18,675	有	1,500	6,125	18,375	
成人	似顔絵入門	10月	2	15	30	12,450	9,000	21,450	有	600	6,125	12,250	
高齢者	ポッチャ大会	10月	1	24	24	2,600	2,400	5,000	有	100	0	0	生麦第一地区連合会老人会
成人	藍染め教室	10月	1	12	12	4,225	12,000	16,225	有	1,000	6,125	6,125	
どなたでも	菊花展	11/初~20頃	21	直接	210	3,341	0	3,341	無	0	3,341	3,341	
どなたでも	三館共催 秋まつり	11/12・13	2	直接	6,000	0	0	0	無	0	0	0	生麦地域ケアプラザ・ふれあいの家
成人	美しい文字を書こうペン習字	11月	2	15	30	5,850	9,000	14,850	有	600	6,125	12,250	
成人	鶴見みどころ巡り①	11月	1	15	15	5,475	4,500	9,975	有	300	6125 3850	9,975	
成人	編みぐるみどうぶつ	11月	1	12	12	5,668	6,000	11,668	有	500	5,568	5,568	
乳児と保護者	ごろんしてクリスマスの写真を撮ろう	12月	1	10組	20	1,225	5,000	6,225	有	500	6,125	6,125	
どなたでも	ミュージックベルロビーコンサート	12月	1	30	30	7,000	0	7,000	無	0	7,000	7,000	鶴見大学付属中高ブルーベル・アンサンブル
成人	和布でつくる干支	12月	2	10	20	9,766	10,000	19,766	有	1,000	6125 3341	9,466	
成人	親子でクリスマスケーキ作り	12月	1	6組	12	6,225	9,000	15,225	有	1,500	6,125	6,125	
成人	羊毛フェルトのネックレス	12月	1	10	10	6,225	5,000	11,225	有	500	6,125	6,125	
小学生	冬休み子ども書道	1月	1	10	10	6,225	2,000	8,225	有	200	6,125	6,125	
小学生	ワックンかるた	1月	1	12	12	2,400	0	2,400	無	0	0	0	
どなたでも	新春琴コンサート	1月	1	20	20	10,175	0	10,175	無	0	6125 3850	9,975	
成人	そば打ち	1月	1	10	10	14,219	15,000	29,219	有	1,500	13,919	13,919	
成人	寒の味噌作り	1月	1	12	12	11,336	21,600	32,936	有	1,800	5,568	11,136	
小学生	ヒップホップをおどろう!	1~2月	5	15	70	14,277	18,000	32,277	有	1,500	6,125	30,627	
成人	ロコモ予防体操	2月	4	12	48	601	24,000	24,601	有	2,000	6,125	24,501	
成人	折り紙おひなさま	2月	2	10	20	11,336	3,000	14,336	有	300	5,568	11,136	
成人	冬の寄せ植え	2月	1	10	10	6,225	17,000	23,225	有	1,700	6,125	6,125	
成人	鶴見みどころ巡り②	2月	1	15	15	5,475	4,500	9,975	有	300	6125 3850	9,975	
成人	福文字で春のお祝い	3月	1	10	10	5,668	10,000	15,668	有	1,000	5,568	5,568	
成人	おいしいパン作り	3月	1	8	8	6,440	8,000	14,440	有	1,000	6,125	6,125	
どなたでも	防災講座	3月	1	30	30	0	0	0	無	0	0	0	

(様式5)

横浜芸術アクションパートナー事業				10,000	0	10,000				8,000	
合 計		228		9,124	375,000	410,000	785,000			478,504	

令和4年度 「横浜市生麦地区センター」 収支予算書兼決算書
(R4.4.1~R5.3.31)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	29,989,000		29,989,000		29,989,000	横浜市より
利用料金収入	3,012,000		3,012,000		3,012,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	410,000		410,000		410,000	
自主事業収入			0		0	
雑入	577,000	0	577,000	0	577,000	
印刷代	144,000		144,000		144,000	
自動販売機手数料	432,000		432,000		432,000	
駐車場利用料収入			0		0	
その他（広告ラック収入・預金利息）	1,000		1,000		1,000	
収入合計	33,988,000	0	33,988,000	0	33,988,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	21,927,000	0	21,927,000	0	21,927,000	
給与・賃金	20,167,000		20,167,000		20,167,000	館長・副館長・日給職員・時給職員19名
社会保険料	1,100,000		1,100,000		1,100,000	
通勤手当	500,000		500,000		500,000	常勤職員・日給職員・時給職員
健康診断費	40,000		40,000		40,000	常勤職員・日給職員
勤労者福祉共済掛金	120,000		120,000		120,000	
退職給付引当金繰入額			0		0	
事務費	1,430,000	0	1,430,000	0	1,430,000	
旅費	5,000		5,000		5,000	出張旅費
消耗品費	500,000		500,000		500,000	事務消耗品費
会議ठी費	30,000		30,000		30,000	諸費を含む
印刷製本費	0		0		0	
通信費	110,000		110,000		110,000	電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	112,000	0	112,000	0	112,000	
横浜市への支払分	82,000		82,000		82,000	目的外使用料等
その他	30,000		30,000		30,000	リース経費等
備品購入費	60,000		60,000		60,000	
図書購入費			0		0	二一ズ対応費より支出
施設賠償責任保険	14,000		14,000		14,000	
職員等研修費	6,000		6,000		6,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	233,000		233,000		233,000	
手数料	350,000		350,000		350,000	
地域協力費	0		0		0	地域イベントの協力費等
事業費	785,000	0	785,000	0	785,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	785,000		785,000		785,000	
自主事業費			0		0	イベントの実施
管理費	7,349,000	0	7,349,000	0	7,349,000	
光熱水費	3,280,000	0	3,280,000	0	3,280,000	
電気料金	1,800,000		1,800,000		1,800,000	
ガス料金	900,000		900,000		900,000	
水道料金	580,000		580,000		580,000	
清掃費	1,750,000		1,750,000		1,750,000	日常・定期清掃費
修繕費	200,000		200,000		200,000	
機械警備費	170,000		170,000		170,000	
設備保全費	1,949,000	0	1,949,000	0	1,949,000	
空調衛生設備保守	670,000		670,000		670,000	
消防設備保守	120,000		120,000		120,000	
電気設備保守	800,000		800,000		800,000	
害虫駆除清掃保守	59,000		59,000		59,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	300,000		300,000		300,000	ピアノ、音響、コピー機保守費
共益費			0		0	
公租公課	730,000	0	730,000	0	730,000	
事業所税			0		0	
消費税	730,000		730,000		730,000	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	763,000	0	763,000	0	763,000	
本部分	763,000		763,000		763,000	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費	1,004,000	0	1,004,000	0	1,004,000	
支出合計	33,988,000	0	33,988,000	0	33,988,000	
差引	0	0	0	0	0	
自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

令和4年度 生麦地区センター自己評価表

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組(改善計画)	自己評価
利用者サービス	事業計画書			
	(2) イ地域特性、地域ニーズ <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の応援、相互支援 ・高齢者の健康推進、楽しさ提供 ・活発な地域交流の支援 ・鶴見川流域保護の支援 ・地域歴史を伝える ・図書貸し出し推進事業 			
	ウ公の施設としての管理 <ol style="list-style-type: none"> ①利用者の人権、利用者目線、公正・透明なルール ②利用手続きの公平性や利便性を確保し、事務の効率化 ③業務点検・実態調査・ニーズ分析結果を反映 ④業務改善・サービス向上の取り組み ⑤運営協議会を強化し、課題解決 ⑥情報の公開と広報・広聴の充実 			
	4) エ利用者ニーズの把握と運営への反映 <ul style="list-style-type: none"> ・窓口、利用者委員会、利用者アンケート、自主事業アンケート、自主事業キャンセル待ち等、ご意見箱 			
	オ利用者サービス向上の取組 <ol style="list-style-type: none"> ① インターネット予約の導入・改善 ② ロビー、会議室へのWIFIの導入 ③ 自主事業のインターネット申込、スマホ決済の検討 ④ 体育室個人利用15時開始週3日による団体利用増目標 ⑤ 体育室団体利用枠6割による団体利用増目標 ⑥ 図書年間200冊購入、図書の予約 			

業務運営	事業計画書		
	<p>(3) ア管理運営に必要な組織、人材体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 館長1名、副館長1名、主任3名、スタッフ14名 ・ 地域からの地域アドバイザー選任による地域連携や協力 ・ 常勤職員または主任が少なくとも1名在館 ・ 窓口業務は、午前、午後、夜間とも2名、円滑な引継ぎ時間 		
	<p>ウ緊急時の体制と対応計画</p> <p>◇横浜市、鶴見区防災計画に沿った緊急時の体制確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鶴見区と災害時の施設利用協定を締結 ・ [災害時対応マニュアル]を整備 ・ 緊急時館長連絡網の整備 ・ 緊急地震速報、気象警報受信ラジオ、懐中電灯を配備 ・ 自動販売機は災害ベンダー対応機を設置 ・ 防災備蓄庫を設置（ミネラルウォーター備蓄） <p>◇地域や近隣施設との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元防災拠点の運営委員（自治会長、学校長）との連絡・応援体制 ・ 地域ケアプラザとの合同消防防災訓練実施 <p>◇区内在住職員で構成する緊急体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設近隣在住のスタッフ ・ 区内12施設の緊急相互応援体制 <p>◇危機管理マニュアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 火災・台風・風水害・地震・不審者・事故・盗難等網羅 ・ 緊急連絡網 ・ 非常時の対応手順を事務室内に提示 <p>◇不審者対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯カメラ ・ 青少年補導員による巡回 ・ 警察官による巡回 ・ 小中学校との情報交換・連絡 <p>◇事故防止策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 火の元、水回り、電機停止、戸締り確認 ⇒業務日誌、チェックリストの共有 ・ 事故等の発生事例、ヒヤリハット事例 ⇒館長会、館のミーティングにおいての共有と注意喚起 		
<p>(4) ア設置理念を実現する運営内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域行事に積極的に参加し、情報の収集や要望を取り入れ、地域の仲間として認知してもらい、利用に繋げる。 			

	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児から高齢者まで、性別や国籍を問わず、参加しやすい運営や企画をめざす。 ・地域ケアプラザ、ふれあいの家との協働の事業をおこなう。 (ふれあい夏祭り、もちつき、三館合同秋まつり) 			
	<p>イ利用促進策</p> <p>①施設や事業の広報・PR強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会。町内会の掲示板・回覧板（毎月）、学校への広報 ・持ち帰り用事業チラシ ・館内外の事業ポスター掲示 ・新着図書の表紙の表示 ・インターネットによる広報 <p>②利用者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議室・ロビーへのWIFI環境の整備 ・新着図書の充実（年間200冊購入） <p>③魅力的な自主事業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンセル待ちの多さやアンケート等の要望がバロメーター ・そばうち、歌声喫茶、パソコン講座などへの中高年男性の増加 ・サークル化として定着をめざした自主事業の実施 ・コロナ終息後の料理の自主事業を実施し、料理室の稼働を伸ばす。 ・線路を越える生麦第二地区の利用者の取り組みに、寺尾地区センター等との共同事業の実施 			
	<p>キ本市重要施策に対する取り組み</p> <p>◆情報公開</p> <p>①指定管理業務は、区及び当法人のHP</p> <p>②HPで施設の利用方法や自主事業案内 利用者アンケートの結果及び回答は館内に掲示</p> <p>◆人権尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重については、すべての職員に研修を実施し、様々な機会の啓発に努める。 <p>◆障がい者福祉政策</p> <p>①障がい者団体の優先・減免適用や利用しやすい施設環境の整備</p> <p>②地域作業所「ふれあいの家」の行事（夏祭り、もちつき大会、コンサート）を地域ケアプラザと地域との協働で実施</p> <p>◆環境への配慮</p> <p>①ヨコハマ3Rプランに沿って、分別・資源化を徹底</p> <p>②節電（LED化）にこころがけ、CO2削減に努める</p> <p>③環境を学ぶ自主事業の実施（鶴見川お魚観察、地球温暖化防止化学事業）</p> <p>①落ち葉のたい肥化をめざす。</p>			

<p>◆市内中小企業優先発注</p> <p>①施設管理点検関係は、区内中小企業を優先</p> <p>②消耗品の購入は区内中小企業、市内中小企業を優先</p> <p>◆男女共同参画政策</p> <p>①職員の女性比率は高い</p> <p>②男女が性別の区別なく参加できる自主事業を展開</p> <p>◆多文化共生</p> <p>①多くの外国人が暮らす街として、誰もが利用・参加しやすい施設運営、自主事業の実施に取り組む。</p> <p>◆読書活動推進</p> <p>①新刊図書の充実による街の小さな図書館をめざす。</p> <p>②地域活動の支援（蛇も蚊も、生麦事件顕彰祭、運動会、敬老会、旧東海道まつり）</p> <p>③「鶴見区自治連だより」の発行など自治会加入促進への協力</p>			
<p>(5) 自主事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域特性や年齢構成を反映させて企画実施 <p>◇ウィズコロナ時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 比較的 안전한 「ペン習字」「絵手紙」「似顔絵」など ・ 器楽コンサート ・ 飲食を伴わない「そば打ち」など ・ 高齢者の体操 ・ 「藍染」「手芸」など <p>◇アフターコロナ時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者に好評の「歌声喫茶」 ・ 子育て中の保護者を癒す「泣いても大丈夫コンサート」 ・ 「ヘルスメイト協力の料理教室」、「上生菓子」 ・ 環境問題を考える（鶴見川お魚観察）「地球温暖化防止科学（事業）」 ・ 多文化交流として「琉球舞踊」など <p>◇施設間合同事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「鶴見史跡巡りリレー講座」「ブラツルミ」 ・ 音楽、アートの横浜市芸術支援事業に参加 			
<p>(6) 施設の維持管理計画</p> <p>◆施設の維持管理業務</p> <p>〈建築物保守管理・設備機器管理・清掃・保安業務・環境衛生管理〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門業者による主な点検 ・ 職員による点検 <p>職員による日々、時間帯ごとの点検実施、チェックリストに基づき確認。 軽易なものは職員が修繕</p> <p>◆施設の老朽化と積極的な対応</p>			

	<ul style="list-style-type: none"> ・S57 開館。諸設備の老朽化は否めず区役所との連携を深め順次更新をすすめる ・また、法人で留保した修繕費を活用して修繕にも対応 ・職員による溝浚い、樹木剪定、ベンチ修理等 ◆効率化の工夫 ・法人及び施設間で、建物管理や修繕等について情報交換・共有を行い、優先順位をつけて効率的、計画的に進める。 ・職員、スタッフによる日常点検を行い、早期発見・対応する。 			
職員育成	<p>事業計画書</p> <p>(3) ア管理運営に必要な組織、人材体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館長1名、副館長1名、主任3名、スタッフ14名 <p>イ個人情報保護等の体制と研修計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[個人情報の保護に関する規定]、[個人情報保護方針] 制定 ・[特定個人情報(マイナンバー)取扱規定][特定個人情報法人] ・利用目的・取扱責任者をHPにて公開 ・職員のキャリアアップも想定した階層別研修 			
	<p>事業計画書</p> <p>(7) ア収入計画の考え方について</p> <p>質の高いサービスと安全かつ清潔な施設運営管理を目的に</p> <ol style="list-style-type: none"> ①利用料金収入を増やすため、部屋の稼働率の向上 ②魅力ある自主事業を実施し、サークル化支援による新規利用団体の増加 ③印刷サービス、自動販売機等、利用しやすい環境づくりを進める。 <p>〈令和4年度の目標〉</p> <p>休館や利用制限がないことを前提に、稼働率48%、利用料金収入3,012千円を目指す。</p> <p>イ増収策について</p> <ol style="list-style-type: none"> ①利用料金収入の増加 ・インターネット予約導入により、体育室などの稼働率UP ・新たな利用サークル誘致による会議室、和室、料理室、余暇コーナーなどの利用を促進します。 ②自主事業収入の確保 ・魅力ある事業を実施し、継続利用に繋げるとともに、サークル活動の活性化・定着を支援 ・参加費に自主事業に要する費用(材料費、講師謝金等)を含 			
財務				

<p>め、適切な参加費を設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の要望を踏まえたコピー・印刷機サービス、自動販売機の設定を行い、雑収入の増加を図る。 			
<p>ウ支出計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「経理規定」に基づき、最小の経費で最大の効果を発揮するよう努める。 ・区内の地区センター・コミュニティハウス 12 施設を管理運営しているメリットを活かし、管理事務の一本化を図ることで、経費削減や執行の効率化を行う。 <p>① 人件費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当法人の給与基準及び就業規則に基づき積算 ・「指定管理者制度における賃金水準スライド」を踏まえ算定 ・職員は近隣地域からの採用による緊急時対応と通勤手当削減 <p>② 管理費 A（光熱水費）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービスの低下を招かない範囲で節減 ・施設の老朽化に伴う設備更新において、省エネルギー効果を考慮して更新 <p>③ 管理費 B（清掃・衛生・設備管理）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な清掃や専門業者による点検を行い、不具合の早期発見に努める。 ・早期修繕と計画的な更新 ・月次・年次管理点検計画に基づき、適切な管理 <p>④ 事務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議や資料の簡素化、ペーパーレス化 ・消耗品の法人での一括購入 ・施設間での情報交換 ・故障等により不要となった機器の消耗品を施設間で融通 <p>⑤ 適正な執行管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経理規定に基づき契約や支出手続きを適正に行い、各施設で執行したものについては、施設のチェックに加え、事務局への報告・確認 ・会議、研修等において、職員のコスト意識を高める。 			
<p>(4) カ ニーズ対応費の用途</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービスの向上を目的に効果的な予算執行 ・卓球台やバドミントンポール、防球ネットなど ・花苗 			

	<ul style="list-style-type: none"> ・書籍年間 200 冊 ・コロナ予防の消毒薬、検温器 ・三館合同地区センター秋祭り費用 			
<p>その他 (上記4つの視点以外の項目があれば追記)</p>	<p>(8) 新型コロナウイルス感染症に係る対応</p> <p>◆感染症防止策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラインコロナお知らせシステムの導入 ・入館時の検温、手指消毒 ・受付の飛沫予防カーテン設置 ・利用者の感染防止の注意喚起 ・マスク着用、社会的距離の確保 ・施設内の消毒、歓喜の実施 ・横浜市ガイドラインによる会議室、体育室利用人数の制限 ・スタッフによるテーブル椅子・卓球台等清拭 ・内部会議のオンライン開催 ・自治会町内会と連携して地域への情報発信 <p>◆自主事業開催の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数を制限して、回数を増やす ・歌声喫茶など飛沫感染のリスクが高い事業の自粛 ・会議室・ロビーの事業を体育室で実施 ・アクリル板利用と客席の距離をあけて開催 ・オンライン講座、動画配信による開催 <p>◆利用料金収入減に対する対応策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規団体開拓による収入減の抑制 ・利用者ニーズの低い事業の廃止など ・内部講師（公的機関を含む）や地域人材ボランティア団体の活用 <p>◆感染防止を踏まえた予約受付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット予約システム（導入済）の活用 ・利用日当日の料金収受による来館回数の減 			
利用者等の意見				

《自己評価》

A：計画、目標を上回って実施

B：計画、目標を保持して実施

C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載